

基本政策「ラ」はつきりしました「ピラ、あきば光枝パンフレット、告示「ラ」などを手もとに置きましょう
難しい質問があれば、無理に答えようとせず、「調べて、またあとで電話します」とか「詳しいものから、また電話させます」とていねいに話しましょう。

さんのお宅ですか。私は日本共産党のあきば光枝後援会の と申します。
いつもお世話になっております。

(後援会ニュースでもお知らせしていますが)

いよいよ市会議員選挙が始まりました。あきば光枝は国保税の引き下げや子育て支援の強化など、市民のみなさんの願いを実現するために、がんばっています。

「袖ヶ浦駅北側開発」のムダを凍結・見直して、全国でも有数の財政力と、100億円のため込み金を生かせば、住んでよかったという袖ヶ浦市を作ることができます。

今度の日曜日、二十四日の投票日には、日本共産党のあきば光枝へのご支持をよろしく願います。

あきば光枝の実績と公約

実績

小学校入学前までの医療費窓口無料化、ガウラ号の運行、マンモグラフィによる乳がん検診、全小中学校への読書指導員配置と図書館予算の増額(一校百万円)、学童保育所への助成金の増額(百五十万円)

公約

国保税の一世帯2万円の引き下げ、児童館・保育所の充実、保育料の引き下げ、市内業者によるリフォームに10万円までの助成、住民の意見でガウラ号路線の拡充、介護保険の減免制度、児童館建設と公設学童保育、レジ袋を指定ゴミ袋に、市が計画している防犯灯の明るさ低下をやめさせます、長浦地区にも循環バスを。

「袖ヶ浦駅北側開発」とは

総額200億円(市の負担は140億円)を投じて、袖ヶ浦駅の北側49ヘクタールの農地(田んぼ)を宅地化しようという開発計画。駅舎の改善や水害対策など必要な事業もあるが、片側4車線の道路をトンネルで線の下を通したあとは行き止まりという工事に50億円をかけるなど、バブル経済の破綻で民間資本も投げ出した無謀な計画。

今回の懲罰は

日本共産党のしのぎき典之議員が、「袖ヶ浦駅北側開発」のムダや、市の公共事業の下請け先が特定業者(丸市ガラス)にかたよっていることを追及したら、それは許さんとかばかりに、懲罰がかけられたんです。本来、議会は、市政の問題を市民に分かるようにするのが仕事ですから、しのぎ議員への懲罰は、市民の目と耳をふさぐ、議会の自殺行為ともいえるべきものです。こんなことは許せません。

議員への懲罰とは

議会の品位をけがす言動があった議員に警告したり、謝罪させたり、出席停止や除名(議員資格の剥奪)の制裁を課すこと。全国では、たびたび日本共産党の不正腐敗追及をやめさせるために、「口封じ」として悪用されています。

丸市硝子とは

袖ヶ浦市議会の実力者と言われる石井俊夫市議が代表を務めるガラス工事会社。市の下請け工事のうち、平川消防分署、平川公民館、小中学校改修などのガラス工事のほとんどを受注している。資本金300万円、従業員3人。